

2016年10月31日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

アキュートロジック株式会社に投資

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン2号投資事業有限責任組合（NH-2）は、本日、スマートフォン用カメラ等のデジタル画像処理のソフトウェアとアルゴリズムの開発及びライセンスビジネスを主たる事業とするアキュートロジック株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 唐岩秀博、以下「アキュートロジック」）への投資を実行致しました。本件は、再生から成長フェーズに移行した同社の経営ガバナンスの強化と成長支援を目的としたものです。

アキュートロジックは、「デジタル画像ソフトウェア技術を通して世界中の人々に新たなライフスタイルを提供すること」を同社経営の使命としています。また、動画においても静止画においても「世界 No.1 の高画質ワールド」を提供し、お客様の声を聞きお客様の視点を大切にした技術開発で「顧客価値創造」を行うこと、そしてこの目標を同社の人材並びに同社と提携する社外パートナーらと協力して「画像」と言う文脈で実現することを事業ビジョンとして掲げています。

アキュートロジックの特色は、①同社のデジタル画像処理技術（「3A」と称される AE（自動露出制御）、AF（オートフォーカス）、AWB（オートホワイトニングバランス）並びに LSC（レンズシェーディングコレクション）など）はカメラの画質を左右するコア技術として高い競争力を有していること、②世界有数の大手スマートフォンメーカーやモバイル用半導体メーカーらと豊富な取引実績を有していること、③独自開発したデジタル画像チューニング用ソフトウェアを駆使して顧客の製品開発を支援し重要なパートナーとしての関係を構築していること、④今後も成長が見込まれる新興国向けのスマートフォン市場において確固たる営業基盤を有していること、⑤車載・医療・IoT 向けなど次世代の画像処理アルゴリズム開発や画像変形、加工技術の応用開発など先進的な技術開発に強みを有していること、などが挙げられます。

NHC はアキュートロジックの経営陣らと協力し、同社の経営理念の実現と事業の更なる成長を支援してまいります。

以上

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。02年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から06年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。02年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉など、開示可能なエクイティ投資先だけで35社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC） 竹江

電話 03-5532-8921